第１０回定例会（令和８年８月２７日）
報　告　事　項　１

報告事項名　　徳島県立板野支援学校における「校務用スマートフォン」
実証研究について

特別支援教育課

徳島県立板野支援学校における
「校務用スマートフォン」実証研究について

１　経　緯

（１）特別支援学校では、近年の在籍児童生徒数の増加に伴い、個々に応じた授業準備等に要する時間も増加するなど、教職員の負担は増大。
（２）一部の特別支援学校では、進行する過密化への対応によって校舎内の教室配置や教職員の動線は複雑化し、迅速な連絡体制に課題。
（３）特別支援学校では、複数の教員で授業を行うことが多く、常に児童生徒や授業運営に関する情報共有が必須であるが、共有完了までに時間と労力を要している状況。
（４）一方、Sky 株式会社は、ICT 技術を活用した教育現場におけるデジタル改革を推進。「校務用スマートフォン」導入の実証研究を実施し、データや成果等を蓄積。
（５）Sky 株式会社から県教育委員会に対して「特別支援学校を実証フィールドとした効果検証」についての相談があり、実現。

２　目　的

「校務用スマートフォン」の導入により、「特別支援学校が抱える各種課題の軽減や解消」及び「働き方改革の推進」にもたらす効果等について検証を行う。

３　検証期間とスケジュール

（１）検 証 期 間 ：令和８年８月５日～令和９年５月３１日（予定）
（２）スケジュール：６月中旬～下旬　事前準備（教職員への事前アンケートの実施）
８月５日　教職員へのスマートフォンの配付
初期設定及び使用の関する研修の実施
夏季休業中　自己研修（スマートフォン操作の練習）
９月１日～　本格運用開始
※「効果検証アンケート」を定期的に実施。

４　校務用スマートフォン

（１）貸し出し台数：１４８台（対象：常勤の教職員）
（２）主な機能
①セーフカメラ：クラウド上での一元管理による画像データの安全な管理と瞬時の共有
②Wi-Fi 通話　：取次の手間なく、目的の教職員とピンポイントで通話が可能
③ToDo プラス　：仕事の引継ぎや依頼・伝達等の業務を端末間で可視化することによるミスの防止



５　期待される効果

（１）常時携帯しやすいサイズであるため、普段の学習や活動の様子を写真や動画で手軽かつ安全に撮影でき、児童生徒の成長を記録しやすくなる。
（２）「校務用スマートフォン」の機能を利活用することによって、教職員間の情報共有の「迅速化」と「効率化」が図られ、時間的なゆとりが創出される。
（３）特別支援学校を実証フィールドとする効果検証は「全国初の取組」であることから今後、全国の自治体が特別支援学校への「校務用スマートフォン」導入を検討する際の参考となる。